

は じ め に

昨年は2020年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束せず、オミクロン株の影響等により全国各地で感染が急拡大し、消防行政の運営についても極めて厳しい状況でした。今年の5月8日から新型コロナウイルスは感染症法上の位置づけが5類となり、全国的に行動制限が緩和され、コロナ禍以前のような日々の経済活動が戻りつつあります。しかし、新型コロナウイルスのリスクが無くなったわけではないため、「消防はエッセンシャルワーカーである」との自覚を持ち、引き続き状況に応じた感染症対策を続けてまいります。

近年、全国的に気候変動等の影響により、自然災害が頻発化・激甚化しており、災害対応や危機管理など消防が直面する課題は多岐にわたります。住民の皆様の多様なニーズに応えるため、デジタル技術やデータ分析を活用した迅速かつ効率的な消防行政の運営を推進しています。

消防に対する期待はますます高まるなか、本組合は住民の皆様に支えられ、今年発足50周年を迎えました。将来にわたって管内住民の皆様とともに、尊い命と大切な財産を未来の子供たちへ安心して引き継ぐことができる、安全な暮らしを支える消防を目指してまいります。

この年報は、令和4年中の郡山地方広域消防組合の現勢及び消防統計を記録したものです。

なお、火災・救急・救助等の統計は暦年とし、その他の業務については会計年度で収録しております。

令和5年8月

郡山地方広域消防組合